

宇佐崎報

発行 宇佐崎自治会

〒672-8023 姫路市白浜町宇佐崎

Tel (079) 245-9721

編集・文責 宇佐崎自治会 広報・文教委員会



ごあいさつ

宇佐崎自治会 会長 濱田 長伸

まだまだ寒い日が続きますが町内の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。昨年は100年に一度の大不況といわれ経済面では大変厳しい1年でございました。秋の祭りができるかなと心配しましたが町民の皆さんの熱き思い、輝かしい歴史と伝統を持つ祭りの力、地元企業各社のご協力により例年通りの祭りができましたこと改めて厚くお礼申し上げます。

この厳しい経済、財政状況の中、我々を取り巻く環境は逐次整備され、また、長年の懸案事項も次々と目途が立ってまいりました。昨年9月には国道250号線、飾磨バイパスそれに続く浜手大橋が完成いたしました。白浜から飾磨、姫路市中心部への交通アクセスが格段に良くなり、万年渋滞であった妻鹿地区の交通難が解消

されました。また、10月末には八家川の測量が始まり、いよいよ八家川にポンプ場が建設されることになりました。この問題は八木、糸引、明田、白浜の連合自治会が長年月に渡り兵庫県、姫路市に陳情を繰り返した経緯があります。いろいろ難しい問題もありましたがようやくまとめることができ着工にこぎつけることができました。宇佐崎東部地区のみなさんは台風が来るたびに浸水の心配をし、役員、取締、消防団の皆さんにはその都度出動していただき、長年ご苦勞をおかけしました。今年度より工事が始まっています。まもなく完成し、安心して住める日が来るであろうと思っています。これも長年に亘る歴代白浜町、宇佐崎の役員、先輩の皆さんのご努力がようやく実ったものと感謝申し上げたいと思います。

姫路バイパス姫路東ランプの渋滞解消については昨年南行き「吾平」の前が拡幅されラインが入りまして完全に2車線(右折レーン)が完成しました。現在はバイパスからの西行きの降り口を拡幅し、完全な2車線にする工事と県道国分寺白浜線の道路幅の拡幅、北行きの2車線化(左折レーンの延長)工事が行われています。抜本的な改善にはならないと思いますが少しは効果は期待できるのではないかと考えています。

また、11月にはこれも長年の懸案であり高齢者の皆さんからの要望の強かった山陽電鉄白浜の宮駅に昇降用エレベーターをつける問題で兵庫県知事に面会し、要望書を手渡し、直接陳情を行いました。松岡市議会議員のお世話になり白浜町、松原、中村、宇佐崎の自治会の代表、白浜高年者クラブ代表、白浜小学校PTA、小学生を伴い兵庫県庁に行きました。席上井戸知事から直接エレベーター設置の確約をいただくことができました。これも歴代の白浜町の役員、先輩の皆さんのおかげであると思います。このように昨年は非常にアゲンストの風が吹く逆風の中であるのに、長年の懸案事項がどんどん実現するという大変幸運な年であったのではないかと考えております。

「ローマは1日でならず」とよく聞かされますが我々の郷土もいろいろな人の見えないところでの後押し、ご支援ご理解があって、ある日突然形が見えてくる。遅遅として進まないようなものでもあきらめずに努力をしていけば何時か形が見えてくる。本当に今年は私たちの先輩諸氏や郷土の伝統の力を感じ、感謝に耐えない思いでいっぱいです。われわれも次の世代に花が咲くように頑張らねばならないと思う次第であります。町民の皆様には今年もどうぞよろしくご支援ご協力をお願いいたしまして年初のごあいさつと致します。

住みよい町に

宇佐崎自治会 副会長 勝森 準一



日頃から宇佐崎町民の皆様方には、自治会活動におきまして深いご理解とご協力を賜り感謝しております。皆様方にとって今年が良い年であることを願っております。

社会は不況の真っ只中ではありますが、こんな時にこそ、いつも明るく元気でありたいと思っています。

今年も活力に満ちた住みよい町づくり、明るく健やかな潤いのある町づくりをめざして、役員一同力を合わせて頑張りたいと思います。

自治会としても公園や道路の美化活動や、防犯委員会を中心に消防や警察と連携して安全安心な町を願ってパトロールの強化を図っているところです。

今年も役員一人ひとり、目配り、気配りして、皆様方のご期待にそうように、自治会活動を進めていきますので、ご理解ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

土木関係事業報告

土木区長 山田 尊重

立春を迎えたといえ、なおきびしい寒さが続いておりますが、町民の皆様方にはお変わりございませんか。

昨年は、道路補修工事、河川工事等の工事時には皆様方にはご迷惑をお掛け致しまして申し訳ありませんでした。これもひとえに町民の皆様がたが安心、安全な暮らしが出来る事の一環工事でございますので、今後共ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

昨年の工事関係のご報告をさせていただきます。

土木関係に付きましては、道路が何カ所かいたんでおりましたので、要望書を提出しその都度、補修工事を行ってまいりました。

又、旧国道250号線の側溝取付工事も県土木の方へ要望書を提出し取付工事は完了しております。

河川関係に付きましては、昨年は台風での影響は2回ぐらいですみましたが、土木委員会全員で河川の見回りなどを行ってまいりました。

昨年度の一番の喜びと致しまして、八家川下流に(木場地区)水害対策強制排水ポンプ場が出来る計画と成りました。

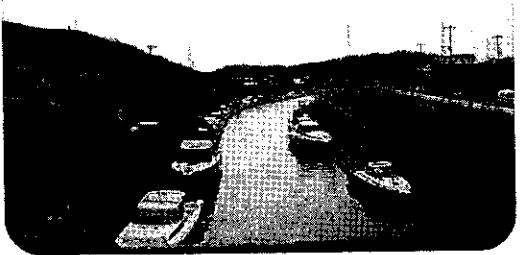
白浜連合自治会長の濱田様、又、各地域の自治会長様の強い要請で出来た事だと思っております。昨年、11月より水門の工事に伴う八家川の地形測量及び用地測量などを行っております。

今までは、地域住民は台風の時に成りますと水害に恐れ夜も眠られない状態が続いておりましたが、このポンプ場が完成致しますと、安全、安心して日々暮らせる様に成ります。簡単ではございますが以上にて平成21年度の事業報告とさせていただきます。

今後とも宜しくお願い致します。



旧国道250号線工事完了



八家川下流(木場地区)

公民館改修工事

総務委員長 河野 富士雄



宇佐崎公民館改修工事

現在、昭和50年に建設された宇佐崎公民館を35年ぶりに改修、全面的なリニューアル工事を実施しています。公民館の老朽化に伴い公民館内外を全面改修です。

改修工事は、本年2月末に完了して、諸検査等を経て3月中旬には、使用できる予定です。完成しますと、玄関や各部屋間の段差の解消、バリアフリーで高齢者の方々にも利用しやすくなります。

また、省エネ、エコに対応した機器・設備や断熱材等を使用して、冷暖房も効率的になります。

使用者の用途に応じたリフォームで、利用効率も大幅にアップできるものと思っております。

自治会役員選挙の実施

自治会役員の任期満了による役員選挙を実施します。ご多用のことと思いますが、是非、投票場に足を運んで頂きますようお願い致します。

◎ 平成22年3月 7日(日)

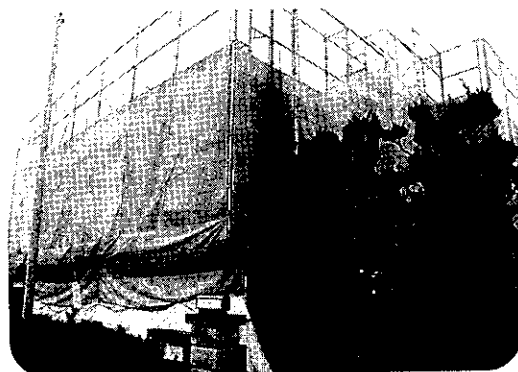
四役(自治会長、副会長、土木会長、会計)

◎ 平成22年3月14日(日)

町委員、協議員

※ 投票時間はいずれも午後5時～午後7時で、投票場は各支部の公民館(クラブ)で実施します。

任期は、平成22年4月1日から2年間です。



改修工事完成が待ち遠しいですね!

地元の有名人紹介

糸東会空手道教室 寫岡 由記 寫岡 亜彩妃 さん



空手着のよく似合う寫岡姉妹

今回の地元の有名人は、6支部在住の寫岡由記さん、亜彩妃さん姉妹を紹介いたします。

姉の由記さんは、現在高校2年生で身長158cmと武道家のなかでは比較的小柄ながら、空手2段の有段者です。空手道をはじめたきっかけは、友達に誘われて小学校6年生の時から続けているそうです。

妹の亜彩妃さんは、白浜小学校の6年生で身長152cmで空手初段の有段者です。空手道をはじめたきっかけはとたずねると、「幼稚園の時に、姉と同じように誘われた。」と笑顔で応えてくれました。

二人のこれまでの成績は、県大会優勝、空手道糸東会全国選手権大会ベスト8と、数々の大会に出場して活躍しています。

昨年の8月に東京武道館で開催された糸東会全国選手権大会での成績が認められて優秀選手にも選ばれています。

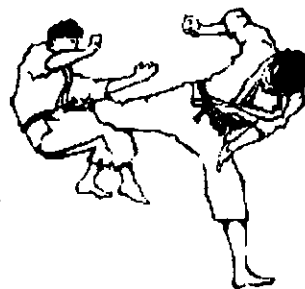
今後の目標として、由記さんはインターハイ出場！

亜彩妃さんはハマナス杯出場だそうです。

また、将来の夢として、由記さんは「人間を磨いて高校教師」になること。亜彩妃さんは、ズバリ

「警察官」になること。目を輝かせてこたえてくれました。

二人の練習場所は、灘市民センター3階で月曜日と金曜日の午後6時から練習をしていますので、宇佐崎のみなさん、応援を宜しくお願い致します。



おめでとうございます

地元の有名人に引き続き、「平成21年度兵庫県技能顕功賞」を受賞された方、おふたりを紹介いたします。

いずれも8支部在住の建築大工の小西 弘一 氏と、神輿師の河野 敏信 氏です。

この賞は、技能が優れており、産業の発展や技能の後継者育成等に努力され、功績のあった方に兵庫県知事より表彰されるもので、小西氏はこれまでの住居建築関係等の功績。河野氏は神輿・屋台製作等の功績が認められ受賞されています。昨年の11月10日(火)兵庫県公館大会議室で授賞式がありました。

お二人にそれぞれインタビューをして、写真を掲載してと思っておりましたが、「村の役員でもあり大きく取り上げないで欲しい。」と、謙虚に断られましたので紹介のみとさせていただきます。

「本当におめでとうございます!!」「今後、益々のご活躍を!!」

祭典委員会よりお礼

宇佐崎祭典委員長 伊藤 義文

日ごとに春の気配を感じる季節となりました。

さる1月11日には、穏やかな好天に恵まれた中で、宇佐崎蛭子神社睦月祭を執り行うことが出来ました。

来賓はじめ地域の将来を担ってくれる子ども達もたくさん参列し、参拝をしてくれました。宇佐崎住民の幸せと地元企業の繁栄をお願い出来ましたことは、役員はじめ町民の方々の協力のおかげであるとお礼申し上げます。

また、睦月祭の準備から挙行に至るまで、取締や婦人部の方々に大変ご苦勞をおかけしましたことを心から感謝申し上げます。

なお、昨年の秋季例大祭では、宇佐崎町民一丸となった取組姿勢と祭りへのほとばしる情熱によって、若者たちの秀抜の練りを披露することが出来るなど、立派に成し遂げられたことを、当委員会一同喜んでおります。

さて、祭典委員会の今後の目標としては、懸案の屋台蔵の建設計画を推進すると同時に、資料館の建設をも目指して参りたいと考えております。

役員及び部署役員並びに住民の方々より、一層のご理解と絶大なるご尽力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



蛭子神社睦月祭 とんど

防災・美化委員会からの報告

防災・美化委員長 河野 敏信

防災・美化委員会からの報告をします。平成21年度は、あまり大きな災害もなく、おだやかな年でした。

しかし、大ゴミ収集日にヤミ業者が収集場所におとずれて、許可なしに空き缶、段ボール等を持ち帰るといったトラブルが発生しました。そこで、収集処理にあたり少しでもメリットのある方法と考え、宇佐崎指定の業者をお願いして、「段ボール、アルミ缶、新聞、雑誌」などを、回収してもらうことになりました。

次に、防犯の件ですが、毎月15日に町内の公園や深夜に青少年がたむろする場所を重点的に巡回しています。

暑い日、寒い日がありましたが、宇佐崎防犯委員9名と協議員の方々の大いなる協力で、特に宇佐崎公園などでのイタズラが少なくなりました。

平成22年度も防犯委員が先頭となり、安全安心な住みよい宇佐崎の町にしていきたいと思っております。

町民の皆様のご理解とご支援を宜しくお願い致します。



みんなで公園を美しくしよう！！



蛭子神社のあらまし(1)

参考文献 旧宇佐崎自治会編

広報・文教委員 岡本 昌幸

宇佐崎の南東に小島と言う山の山頂に蛭子神社が祀られています。

毎年、1月に陸月祭、6月に水無月祭が行われています。この蛭子神社の云われについて述べてみたいと思います。今から約1250年前の西暦763年に蛭子の神が鎮座したと言われていています。その頃の小島は現在のように陸続きではなく、名前の如く海中に浮かぶ島でした。

現在のように陸続きになったのは、1667年(寛文8年)の沖新浜開発によってです。蛭子神社と沖新浜開発は深い関係がありました。

当時の地頭職の榊原忠次氏は江戸の土木業者三宅又兵衛に沖新浜開発の仕事を請け負わせました。

工事を着工したが、短期間に台風等の自然災害によって築き上げた堤を数回破壊され、これでは工事の完成がおぼつかないとして土木業者は地頭職の榊原氏に工事の解約を申し入れ、これを許されました。

榊原氏は次の手段として、領内27人の大庄屋を集めて、「大庄屋全体一丸となって沖新浜26軒分の開発に当たってくれ」と地頭の方から頼みを入れたようです。

大庄屋の連中は、このような大規模な工事は我々素人の成就させられるものではない。政府の事業としてやっつけたいと逃げてしまいました。

この様子を見守っていた宇佐崎の3人の長老は、時の地頭職の松平直矩に対して「この工事を工費民間持ちの工事としてお引請け致したい」と、その希望を当局に申し出ました。地頭職の松平直矩はこの上もない喜びようで、許可しました。3人の長老は同志の協力を得て、宇佐崎全戸の人心を掌握しながら事に当たり、遂に開発工事を成就させました。

一年を振り返って

広報・文教委員長 石田 秀和



広報・文教委員会の活動としまして、まず前期と後期の広報紙の発行があります。なかなか原稿が集まらず苦労したこともありましたが、皆様方のおかげで後期も発行することが出来ました。

広報紙の内容として、これまで宇佐崎には歴史資料となるものが少ないので、それらのことを研究されている方の体験談や知識をどんどん取り入れ掲載して行く必要があると思っております。

次に、今年度も「宇佐崎屋台写真展」を11月8日(日)灘市民センター1階展示室において開催することが出来ました。テーマを「子どもと屋台」「祭りにたずさわる人」として、河野通一氏、星尾国弘氏の協力をいただき、写真展に至りました。当日は、285名の皆様が足を運んでくださり盛大に終えることが出来ました。

宇佐崎には、「油絵」「水彩画」「書道」「手芸」など、卓越した技能をもった芸術家や文化人がおられます。今後、これらの皆様の作品も展示した文化発表会が出来たら素晴らしいなあと思っております。

一年間、広報活動におきましてご理解とご協力をいただきましたことを厚く感謝申し上げます。